



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



正常な教区会計確立のために 教区財政緊急募金の継続を要請

教区会計部では、昨年五月の経済問題評議会で決定され七月から実施された「教区財政緊急募金」への教区民の協力で感謝するとともに、諸事情から今年度も同募金の継続が不可欠と判断し、「同募金継続」への理解と協力を願うと発表した。

福岡教区司教に 宮原大分司教 三月十九日(水)日本時間午後八時、教皇ベネディクト十六世は、空位となっていた福岡教区の司教に大

分教区のドミニコ宮原長治司教を任命した。宮原司教は一九五五年新上五島生まれの五十二歳。一九八二年に司教に叙階され、二〇〇〇年十月に司教に叙階されていた。

三月二十日(木)午前十時からカテドラルで恒例の聖香油のミサがささげられた。司教と司祭の絆の一致をも表すこのミサには、教区内の各地で働く司祭が駆けつける。この日は三十一人の司祭が司教を囲み荘厳なミサとなった。その中には、三

月五日に到着したベトナム人司祭タム神父とドゥン神父(昨年五月マニラで叙階)らの姿もあった。説教で「囚われからの解放」「見えることの意味」ありのままの姿」について解説した郡山司教は、その後集まった大勢の信者たちに

この春の異動が決まっている司祭たちを紹介、また二人のベトナム人新司祭と、教区神学生への移籍を希望している久保裕己さんを紹介した。ミサの中では、司教・司祭のために祈りがささげられたほか、病者のための油洗礼志願油、聖香油が祝別・聖別され、集まった司祭たちの手で担当小教区に持ち帰られた。

「馬鹿野郎!」そう怒鳴られた気がした。自意識過剰なのか、他人の顔の表情や仕草に過敏に反応してしまふ。それも決まって批判めいた方向に受け取ってしまった。馬鹿野郎と聞こえたのは、車を運転中のこと。交通法規を遵守してのんびり走らせていたのに後方の車から鳴らされたクラクションへの反応。もう一つは小学生に朝の挨拶をしたときの子どもたちの冷ややかな反応に対して。いつだったか鳴らされたクラクションに顔色を変えたのを同乗者に見られた。怒りの感情を見て取ったその人はあつさり「ぼくには、少し急いでね」と聞こえたと笑う。あまりに悟りきつたようなその言い方に悔しさは覚えたが、確かにそうだ。クラクションはどう押しても同じ音しかしない。感情なんて定められはしないのに、こちらが勝手に「馬鹿野郎」と受け取ってしまう。子どもも表情もそうだったのかもしれない。彼らの不器用な笑顔を蔑みと受け取っていたのか?だとしたら、随分と損な生き方をしてきたことになる。少しそのマイナスを取り返すには、いつも自分が穏やかな心でいなければできそうにない。かといってこんな爆弾抱えたような性格、さてどうしよう。うーん、だから職場のボスが繰り返す「朝起きたら神に感謝!と言ってみよう」が第一歩なのか、な?

新風

「私は良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる」(ヨハネ福音書十章11節) イエスは羊飼いと羊の関係になぞらえて、「自分とキリスト信者との関係がどのようなものであるかを教えてください。」

イスラエルでは羊の群れを世話する羊飼いの姿は原風景としてあります。羊飼いは毎日羊に青草を食べさせるために牧草の茂ったところへ導かなければなりません。羊飼いが怠慢で一箇所にいつまでも放置していると、羊たちが草を根こそぎ食べてしまつて来年度が生えないこともあるそうです。そういうことにな

私は良い羊飼いです

「私」は良い羊飼いであります。良い羊飼いは羊のために命を捨てる(ヨハネ福音書十章11節) イエスは羊飼いと羊の関係になぞらえて、「自分とキリスト信者との関係がどのようなものであるかを教えてください。」

教会では良い羊飼いの代理者として、教皇、司教、司祭、がいます。これらの役割についている人たちは皆さん良い牧者ですか?自分に委ねられた信者の世話をしながら、私腹を肥やすことばかりを考えている牧者はいませんか?自分のわがままだけを通そうとする

牧者はいませんか?逆に、牧者である主任司祭から司牧されたくない、と思っている信者はいませんか? 第二バチカン公会議は教会憲章の中で、信者の共通祭司職、という考え方を受け入れました。これは洗礼と堅信の効果として、全信者はキリストの祭司職、預言職、王職に参与するといふものです。信者の両親は家庭でこの三つの務めを果たしますが、子供に対する牧者の務めは王職に当たります。

罪に支配された悪い牧者であるわたしたちが、復活による罪の清めによって良い牧者に変身できますように。(H・N)

教区人事

- ▼松田清四朗神父(志布志教会主任) 始良教会主任
- ▼橋口啓悟神父(大熊教会主任) 川内教会主任
- ▼J・ハンマ神父(川内教会主任) 谷山教会協力司祭
- ▼F・アン神父(ザビエル教会助任) 大熊教会主任
- ▼中野裕明神父(教区本部) は、現職のまま志布志教会管理者
- ▼松森孝郎神父(ザビエル教会助任) 垂水教会管理者
- ▼田原 章神父(垂水教会主任) 引退
- (※いずれも着任は三月三十日)。
- また、三月二十日付、以下の三司祭は教区顧問となった。
- ▼永山幸弘神父
- ▼J・ハンマ神父
- ▼M・マルコ神父
- ▼修道会だより
- ▼レデンブートル会 鹿兒島准管区長にJ・ハンマ神父。前管区長頭島光神父は、長崎教区へ。
- ▼池田紀行神父(マリア会) は、サバティカルを利用して屋久島教会を担当していたが、休暇終了にともない離鹿。

YET

「馬鹿野郎!」そう怒鳴られた気がした。「変な奴」そう蔑まれた気がした。自意識過剰なのか、他人の顔の表情や仕草に過敏に反応してしまふ。それも決まって批判めいた方向に受け取ってしまった。馬鹿野郎と聞こえたのは、車を運転中のこと。交通法規を遵守してのんびり走らせていたのに後方の車から鳴らされたクラクションへの反応。もう一つは小学生に朝の挨拶をしたときの子どもたちの冷ややかな反応に対して。いつだったか鳴らされたクラクションに顔色を変えたのを同乗者に見られた。怒りの感情を見て取ったその人はあつさり「ぼくには、少し急いでね」と聞こえたと笑う。あまりに悟りきつたようなその言い方に悔しさは覚えたが、確かにそうだ。クラクションはどう押しても同じ音しかしない。感情なんて定められはしないのに、こちらが勝手に「馬鹿野郎」と受け取ってしまう。子どもも表情もそうだったのかもしれない。彼らの不器用な笑顔を蔑みと受け取っていたのか?だとしたら、随分と損な生き方をしてきたことになる。少しそのマイナスを取り返すには、いつも自分が穏やかな心でいなければできそうにない。かといってこんな爆弾抱えたような性格、さてどうしよう。うーん、だから職場のボスが繰り返す「朝起きたら神に感謝!と言ってみよう」が第一歩なのか、な?

復活の喜びを知る

1 ※参加者を温かく迎える

※主をお招きするための祈り

※リーダーによる説明(15分)、今日の講座の流れを説明

・分かれ合いのルールについて

三人以上のグループにならないようにする。

中央のテーブルの上にマザーテレサの写真(何枚か用意)、ローソク。テーブルを囲んで円形に着席。

(ゆっくりと間をおいて二回読まれます。)

『マザーテレサは愛の宣教師会の創立者、インドで働いていたシスターです。マザーテレサは旧ユーゴスラビア(現マケドニア)で生まれましたが、貧しい人に仕えるために、生まれ故郷を後にしました。マザーと仲間のシスターたちはインドの旧カルカッタ(現コルカタ)の街で貧しい人や道に倒れている誰からも省みられることのなかった人々を見つけては「家」に連れ帰りました。この人たちはこの「家」で平和のうち息を引いていきました。シスターたちは苦しむわが子に接する母親のように大きな愛情をもってその人たちの世話をしました。そこを訪れる人は、どうしてシスターたちが笑顔絶やさずに喜んで仕事をしているのか不思議でなり

ませんでした。

マザーとシスターたちはべつの家でハンセン病患者の世話もしています。ハンセン病の傷は膿みただれで

いますが、シスターたちはその手当てをし、誠心誠意病人に仕えています。ある日のことひとりの若いシスターがマザーに「マザー、

貧しい人、道で苦しんでいる人のところに行かせて下さい」と願い出ました。マザーはシスターをじつと見

詰めました。シスターは悲しげな顔をしていました。マザーはこう言いました。「いいえ、だめです。ベッドに戻りなさい。悲しい心で貧しい人に仕えることはできません。わたしたちは貧しい人たちに喜びをもたらさなければならぬのです」と。』

北薩地区宣教奉仕者

(信徒使徒職)養成講座 ⑤

出水教会主任司祭 大松正弘

分かれ合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて10分、全体では30〜40分)

※質問は一つずつ、分かれ合いと報告しながら進んでいきます。

使徒言行録二章22節〜28節を読んでみましょう。

『イスラエルの人たちは、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神はイエスを通してあなたの方で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたの方に証明なさいます。』

※ ペトロはイエスが死んで復活したと宣言しています。もう一度、25節〜28節までを読み、喜びに

揺れない。
※ だからわたしの心は楽しみ、舌は喜びたたえる。体も希望のうちに生きるであろう。

※ あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、

あなたの聖なる者を朽ち果てるままにしておかれなさい。

※ あなたは、命に至る道をわたしに示し、御前にいるわたしを喜びで満たしてください。』

※ ペトロはイエスが死んで復活したと宣言しています。もう一度、25節〜28節までを読み、喜びに

した。あなた自身が既に知っている通りです。このイエスを神はお定めになった計画により、あらかじめご存知の上で、あなたの方に引き渡されたのですが、あなたの方は律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまっただけです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかつたからです。ダビデはイエスについてこう言っています。

『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。主がわたしの右におられるので、わたしは決して動

きません。自分自身は、主がわたしの右に立って、わたしは決して動かない。』

問いかけ(まず五分間それぞれ自分を振り返り、必要に応じてメモしてください)

(1) マザーテレサとシスターたちは見捨てられ、苦しんでいる人たちの世話をどうしてそんなに喜んでするのでしょうか?

※ 小グループに分かれての

話し合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて10分、全体では30〜40分)

2 リーダーによるまとめ。内容についての質問やコメントが出され長くなることもあります。(10〜15分)

3 折り(自分を神の前に置き、振り返る。10〜15分。サダナの祈りによる)

今日の一日、何がありましたか?

あなたにとって復活のイエスとはどのようなものでしたか?いつも感じることはあまりありませんが意識するとどんなときにも一緒にいてくださっているのです。イエスが共にいて支えてくださることを感謝しますように願います。

次回は大口教会。四月二十日(日)午後二時からどなたでも参加できます。

司教執務室 便り

「小春日和」の先輩

四つ目の卒業式は純心中学校だった。いずれの卒業式もそれなりに印象深いものがあつた。とくに、送辞や答辞は生徒たちの生の声が聞けるので楽しみの一つだ。来年閉校が決まっている川内純心での送辞は、式後、校長先生が「外は晴れ。中は大雨」と言われたほど皆の心に深く迫るものがあつた。

対照的なのが中学生の送辞。彼女の好きな言葉は小春日和。口にしただけで、思わずニコニコととなつて、心がポカポカしてくるのだという。先輩たちはそんなイメージだとか。クラスマツチやいろいろな場面で自信を無くしていたとき、「小春日和の先輩たち」から押された背中が暖かさを今も忘れませんと感謝。

なるほど小春日和の先輩か。当日の暖かな春の日にふさわしく、いかにも純粋な少女らしい表現に思わず唖ってしまった。先輩たちからそんな風に慕われる先輩たちはさぞ幸せだろうな。何だか羨ましい。

ところで、「小春日和の信者」というのはどうだろう。小春日和の司教。小春日和の司祭。小春日和のシスター。右も左もニコニコ、ポカポカ。しかし、正直言つて「親切すぎる!」と空港やバスの中ですぐに不機嫌になる自分の性格からは、「架空の人種」という感じがしないでもないのだ。それでも、考えてみると、信者は誰であれ、本来、小春日和のはず。なぜなら、愛と赦し、そして平和を口にする信者は究極の小春日和

の先輩であるイエスの直系なんだから。そんな風に考えると、ボクとしては、少し困った感じもするのだが、年中出来なくても、せめて、不機嫌になりそうなき、ニコ・ポカぐらいで送辞の生徒の半分ぐらいにはなりたいと思う。

時は四月、春爛漫。卒業式当日、応接室の窓越しに見た緋寒桜の目白たちのように、復活の主からの「小春日和」を満喫しながら、ニコニコ・ポカポカの癒しの波長が広がる毎日を!ボクの祈りにしよう。メッセージをくれた中学生にありがとう。

+KABAYAN SEKSIYON+ "Ang Tuntunan ng Kasulatan"

Napag-alaman natin sa ang Simbahang ay ginagawa ang lahat para sa mas maabuting kasalanan ug lahat tungkol sa Banal na Kasulatan. Hindi pwedeng guliwag ang ang Banal na Kasulatan ug sarili lang kundi kaulangan ang gabay ng Simbahang at ng Banal na Espiritu. Ang Simbahang ang mayang tuntunan sa nangangalaga sa kung paano ipapaliwanag ang Salita ug Diyos. Ang ang tinatawag na Banal na Kasulatan, ilan libro ba ang nakapaloob sa Banal na Kasulatan?

Suwot sa Tradisyong apatniko na kaulangan ang Simbahang ay magkaroon ng karunungan kun alin mga kasulatan ang dapat isama sa talasa ug mga banal na aklat. Ang kompletong talasa na ito ay tinatawag na Tuntunan ng Kasulatan. Sa Lunang Tipan ay mayroon 46 na aklat (kung bibuhangan na isa lang ang Jeronimo at Panagbay ay mayroon lang 44 na aklat) at ang Bagong Tipan naman ay mayroon 27 na aklat.

Ang libro ng Lunang Tipan ay ang mga sumusunod: Genesis, Exodo, Levitiko, Mga Bilang, Deuteronomio, Josue, Hukon Ruth, 1 at 2 Samuel, 1 at 2 Mga Mga, 1 at 2 Mga Kronika, Estras at Nehemias, Tuluha, Judo, Ester, 1 at 2 Marakulo, Job, mga Salmo, Kasulatan, Tele-scandis, Awit ug mga Awit, Karunungan, Sima, Ismael, Jeronimo, Panagbay, Barun, Backin, Daniel, Oseas, Joel, Amos, Abdias, Jonas, Mikas, Nuhon, Habakuk, Sofonias, Agos, Sagoripis at Malukias.

Ang libro ng Bagong Tipan ay ang mga sumusunod: Mga ebanghelyo ayon kay Mateo, Marcos, Lucas at Juan. Mga Gawa ng Apotoles, sulat ni San Pablo sa mga taga Roma, 1 at 2 Corinto, Galateya, Efezo, Filipos, Kolosae, 1 at 2 Tesalonika, 1 at 2 Timoteo, Tito, Pitomon, Sulat sa mga taga Hebreo, Sulat ni Santiago (Jaime), 1 at 2 Pedro, 1 at 3 Juan at Judas at ang Pagbabuhat (Apokalipsos).

Sa pagbabuhat at pagmamagpantay natin ng mga Banal na Kasulatan ay mas lahi natin mag-unawaan kung ano ang plano ng Diyos para sa atin. At may lalong pinagtutubay ang pakikipagtipay ng Diyos sa atin, sa sukatatubun sa pamamagitan nadesukristo



教会の祈りを録音して病人へ

意義ある時を過ごすために久保神父と瀬留の信者

昨年十一月、ザンビアから休暇で故郷の奄美に帰って来た久保芳一神父(コンベンツアル会)は早速病人訪問を始めた。そこで久保神父が目にしたのは、長期間にわたる病気の



作業を進める久保神父と瀬留の信者たち

のため、訪れる人も稀となり、面白くないTVを見て日がな一日を過ごしている信者たちの姿。そして神父は「あの方たちのために何ができるか」と思案し「教会の祈り」を録音してクリスマスプレゼントにしようと思いついたのである。

動き、神父の叱咤激励のもと、グループに分かれて必死の録音作業は続けられ、そのマスターテープが業者に届けられたのは二十一日夜中、日付の変わる寸前だった。テープよりCDの方が操作が易し

「列福縁の地」巡礼を計画 パッションの会

パッションの会は毎月一回日曜日に、鹿児島地区各教会で会合を開いている。四月の会場は未定だが、会では五月三十一日(土)から六月一日(日)、一泊二日、列福されるレオ七右衛門ほか近県(熊本・大分)の列福者の縁の地巡礼を計画し、「障害を持つ人、サポートしようとする人、共に生きる喜びを分かち合おうとする人」にこの会と巡礼に参加してみませんかと呼びかけている。四月の会合予定、巡礼等の問合せは左記の通り。

パッションの会会長 川越清春さん(大根占教会所属) TEL〇九九四―二二一〇(四八四)

門田 明氏の 鹿児島とキリスト教②

ジョバンニ・バティスト ・ シドゥッチ神父

一七〇八年八月二十九日、一隻の大きな外国船が、九州屋久島の南海岸湯泊沖に停泊した。そして一人の大柄な外国人が現在の下屋久村唐の浦付近の海岸に上陸した。この男は髪が黒く、和服を身にまとい腰に刀を帯びていた。日本人を装ったつもりであったのだろう。これがシドゥッチ神父の日本到着の姿であった。

皇クレメンス十一世から、日本宣教の命を受け、故郷を船出し困難な船旅の後、マニラに到着した。ここは三千人ほどの日本人集落があり、そこで日本語と日本の生活習慣を習い覚え、和服や日本刀や日本通貨を調達して万全の備えを固め、日本に向かった。しかし、危険な航海で、彼の船も暴風に遭い、かろうじて沈没をまぬがれ屋久島にたどり着いたのである。

密入国者シドゥッチのその後は厳しいものであった。薩摩の領主島津侯は彼の身柄を長崎奉行所に引き渡し、取り調べを開始されたが、シドゥッチは江戸に送られることを強く望み、取り調べに応えない。結局小さな籠に押し込まれ四百里の道を運ばれ、江戸に着いたときは足は萎え、立つこともできない体になっていた。江戸で最終的にCD十八枚になりプレゼントとして間に合わなかったが、三枚ずつ五十人の方々に差し上げることができた。

「まず無理」と思われたのに、実現できたのは天の父の優しい計らいと共に陰で骨身惜しまず働いてくれた信徒の活躍があったから。 「いつも朝からTVがついていたのに、ある朝、気が付くと主人は静かにCDを聴きながら祈っている様子。声もかけられなかった」との声が聞かれ、一安心した」と録音した信徒の声。

今年十二月八日に瀬留教会献堂百周年記念を祝うため信者一同心を合わせて準備を始めたが、病床の方々の賛美と感謝(教会の祈り)は、最もすばらしい準備として御父のみ許に届くに違いない。

今年も企画 マリア山荘黙想会

恒例のマリア山荘黙想会(前期)が、今年も四月十七日(木)から現地地が始まる。テーマは「復活の神秘の中で」(講師・永山幸弘神父)、例年通り、日帰り一泊の二コースが準備されている。受講希望者は、ハガキかFAXで「氏名」「住所」を明記し、各黙想会開催の一週間前までに「マリア山荘黙想会」係まで。受講料は日帰り黙想会が弁当代込みで千五百円、一泊黙想会は夕食・朝食代込みで三千五百円となっている。

日	内容	時間	場所
4月11日(土)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月12日(日)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月13日(月)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月14日(火)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月15日(水)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月16日(木)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月17日(金)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月18日(土)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月19日(日)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月20日(月)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月21日(火)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月22日(水)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月23日(木)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月24日(金)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月25日(土)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月26日(日)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月27日(月)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月28日(火)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月29日(水)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会
4月30日(木)	マリア山荘黙想会(前期)	10時~12時	山荘黙想会

デイノ神父が手術のために募金を呼びかけ 小さな命を救って下さい!

デイノ神父(ザビエル教会)が「心臓病と戦う男の子を救おう」と募金を呼びかけている。神父が救いたいと訴えているのは、フィリピンに住むアンヘロ君(二歳)。アンヘロ君は薩摩



アンヘロ君

川内市在住でデイノ神父と交流のあるウエヤマ・マリーさんの甥にあたる。先天性の心臓病で手術を施さねばならないが、そのためには約三十万ペソ(約七十八万円)が必要。そのため相談を受けたデイノ神父が募金に立ち上がった。募金に関する問合せはデイノ神父(〇九〇―二〇八五―一〇九四)まで。

4月 今月の暦

- 2日(水) 中野裕明神父司祭叙階記念日(一九七八年)
- 6日(日) 復活節第三主日
- 7日(月) 成相明人神父霊名(聖ラザール)
- 11日(金) フリチェル神父司祭叙階記念日(一九五五年)
- 13日(日) 復活節第四主日
- ▼世界召命祈願の日
- 神は、すべての人が誠実に自分の生涯を過ごすように招いています。ある人は社会の中で会社員、医師、看護師、教員、工場で働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そして、ある人は神と人々に仕える司祭、修道者となるように招かれています。神の招きはこのように人それぞれ異なりますが、自分に対する神の望みを祈りつつ探していくことが大切です。近年、司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「世界召命祈願の日」には、司祭、修道者への招き(召命)に一人でも多くの人がこたえることができるように祈りましょう。この日は、教皇パウロ六世によって一九六四年に制定されました。
- 14日(月) 司祭評議会・教区本部・10時
- ▼教区司祭会・教区本部・16時
- 15日(火) 定例司祭集会・教区本部・10時
- 18日(金) 松森孝郎神父司祭叙階記念日(一九七一年)
- 20日(日) 復活節第五主日
- 21日(月) レデンブートル会例會
- ▼三教区(大分・那覇・鹿児島) 司祭合同黙想会・那覇教区・25日まで
- 25日(金) 聖マルコ福音記者
- ▼ヴィゴロ神父霊名
- ▼マイエル神父命日(一九七八年)
- 27日(日) 復活節第六主日
- ▼典礼研修会・教区本部・13時30分
- 22日(火) アン神父司祭叙階記念日(二〇〇六年)
- 28日(月) アッシュヤー神父司祭叙階記念日(一九六四年)
- ▼ハンマ神父司祭叙階記念日(一九六三年)
- 29日(火) 橋口啓悟神父司祭叙階記念日(一九九六年)

黙想会のご案内

- 日時 四月十二日(土) 10時~13時(日) 16時
- 場所 祈りの家「マリア山荘」(霧島市溝辺町麓 三六一―四)
- 講師 W・キップス神父(レデンブートル会)
- 申込先 宮地幸子 ☎〇九九―二六二―四〇二二
- 西 勝 ☎〇九九五―六三―四一九四三

二〇〇八年年間行事

四月からの鹿兒島教区の動き

鹿兒島教区の今年の年間行事については、一月の司祭大会中に調整されたが、十月十九日の教区評議会など次の通り決まった。

- 4月 14日(月) 司祭評議会・教区司祭会、15日(火) 定例司祭集会、21日(月) レデンプトール会例会・三教区合同黙想会(〜25日)、27日(日) 典礼研修会
- 5月 12日(月) ザベリオ宣教会黙想会(〜16日)、13日(火) 教区経済問題評議会、15日(木) 奄美司祭会、18日(日) 北薩カトリック大会(出水教会五十周年)、25日(日) 地区財務委員会・典礼研修会
- 6月 17日(火) 奄美司祭会、22日(日) 典礼研修会、23日(月) レデンプトール会例会・教区司祭会、24日(火) 定例司祭集会
- 7月 7日(月) 司祭評議会、9日(火) WYDシドニー大会(〜22日)、13日(日) 古田町教会五十周年、20日(日) 典礼研修会、25日(金) カトリック幼稚園教師研修会(〜26日)
- 8月 1日(金) アルフォンソ祭、6日(水) カ

- 日(火) 奄美司祭会、22日(月) レデンプトール会例会
- 10月 3日(金) 司祭総会、19日(日) 教区評議会(本土)、20日(月) レデンプトール会例会、26日(日) 教区評議会(奄美)、28日(火) 司祭評議会
- 11月 1日(土) ザベリオ宣教会準総会(〜7日)、6日(木) カトリック教師研修会(〜8日)、10日(月) レデンプトール
- 日(火) 奄美司祭会、11日(月) 定例司祭集会、16日(日) レオ七右衛門像除幕式、18日(火) 奄美司祭会、21日(金) 大神学院祭、23日(日) シドツチ祭、24日(月) 一八八殉教者列福式(長崎)
- 12月 7日(日) 瀬留教会百周年

バングラデシユ視察

カリタスジャパン担当 久保俊弘

二月八日、幸田司教様、下口神父様たちとカリタスジャパンが援助しているバングラデシユの主に東部のチッタゴンの丘陵地帯に住む少数民族のいくつかの小学校を視察し、村人とも対

話して送ったお金が有効に使われていることを確認しました。

十二の少数民族はインド人とは顔も違い、インドネシア系で、日本人とも似た人々で優しい歓待をして

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

市来房枝選
 純心学園 山頭 信子
 薩摩路に司教さま走る主の平和
 (評) 司教さまの「それでも…」を實踐で示される司教さまの姿を詠まれた一句

出水 遠竹 睦郎

老梅は父の佛頭ちて咲く
 (評) 梅の開花はさまざまな思い出を蘇らせる。下の句の「頭ちて咲く」が簡潔で全体を引き締めた。
 厨の水温くみて春は暖かき
 (評) 水の温みまで春を感じられた作者の感性が鋭い。

純心学園 川上 和

球磨川の道辺に芽吹く蒔のとう

鹿兒島 徳永ノブ子

東風強し早足になる家路かな
 「復活祭」祈り続くや二十年
 うぐいすの鳴き声は傾く庭の枝

出水 弘子

ほころびる桜を見つつ春樂し

短歌 (思川短歌会作品)

市来房枝選

出水 遠竹 睦郎
 春の日の晴れて爽けき吾が家に鶯の
 声森より聞こゆ
 (評) ゆったりとして日々の営みの中で鶯の初音を聞かれた感動を詠まれた一首
 鶴の来る薩摩の北の出水駅新幹線の
 客で賑はふ

純心学園 川上 和

列福の花岡山の証し人江戸の嵐も恵

鹿兒島 前田 儀子

みの雨に
 (評) 声調がよく整っている。
 大刀を抜く観つめる太刀に吸われし
 かざわめく念いが澄みわたりゆく
 (評) 雑念のない心の状態が下の句に巧みに表現された一首

大 口 森 博伸

人形の絵を描き込む夜の更けて樹々の梢に雨の音聞く

祭壇の明かりを灯し祈る夜召さるる時の面想ひみる

阿久根 中津濱フサエ

たぐいなき神の恵みにあやかりて弱きこの身を生きて幾年
 聖霊のはたらき知るや山鳩よ今日も祈りの内に暮れゆく

鹿兒島 春山マリ子

管区長・司教様も臨席し国原神父の「金祝 称ふ



会例会・教区司祭会、11日(火) 定例司祭集会、16日(日) レオ七右衛門像除幕式、18日(火) 奄美司祭会、21日(金) 大神学院祭、23日(日) シドツチ祭、24日(月) 一八八殉教者列福式(長崎)

12月 7日(日) 瀬留教会百周年

そのためカリタスバングラデシユは一番必要なのは教育だと判断し、起伏が激しく車も通らない小さな村に木と竹で小さな学校を造りました。

でもそこを卒業しただけでは、就職もできないためハイスクールを造り、家から何十キロも離れている人のための寮もいくつか造って、今、そこで八百人ほど世話をしています。また自立心を育てるために学校運営委員会を作って対応しています。先生方の給料は二千万程だということです。

ヒマラヤ山脈に海風が当たって雨を降らせるこの地区の降水量は世界一(年間四千ミリ)だとか。大きな川が流れていますが、昨年十一月にもサイクロン(台風)の大きな被害を受けていました。助成金で少しだけ高いところに避難所は造られていました。

大司教様、司教様、神父様方も広い教区を車を使って、また歩いたりして毎日

下さいました。ここは今の政府と独立のために争ったことがありません。そのためか広大な土地に学校の一つも造ってもらえませんでした。人々は広いお茶の農場を持つている大企業に日当五十円で雇われています。そこには酒場があり、労働者が稼いだ金は酒にかわり、貯金はできない仕組みになっていました。また字が書けない人が殆どで、自分の土地の登記もできずインド人に奪われたり、基本的人権や女性の権利についても知らない人が多いので

随想

心待たるる

「アンジェラスの鐘」

鴨池教会 田平新太郎

私が四十年来、日々口ずさむ「お告げの祈りを誘う」三十一文字の歌がある。ザビエル短歌会を結成して、歌誌「浜木綿」を創刊したとき、寄せて下さったラサール高校の猶野耕一郎先生の往来のいたくはげしき夕まぐれ心待たるるアンジェラスの鐘の一首の短歌である。

上句の「いたくはげしき夕まぐれ」の表現が心待たるるアンジェラスの鐘に、一段と清しさを加え、「お告げの祈り」へ誘ってくれる。

幸か、不幸か、時を同じくして私の歌作「街路樹に火山灰降り積る夕まぐれ」が、短歌新聞社主催の全国短歌大会で、宮城二選一位に入選したこともあって、「アンジェラスの鐘」にひかされる歩みとなり、心の奥所にある聖母マリアに対する深遠な愛おしみもなつた。里の思川の水音の如くに。

平成20年度 純心市民講座「宗教と人間」

—宗教で人生はおもしろくなる? たぶんきっと!—

*開催日時 (土曜日 10:00 ~ 11:30) *会場 教区本部棟2F 会議室 *定員 20人 *受講料 3,000円 *講師 佐々木亘(教授・文学博士)

- 6月14日 「人生の常識と非常識、宗教の出番です」
- 7月12日 「人間って、何者?」
- 8月9日 「人間にとって、共同体とは?」
- 9月13日 「神の国って、何?」
- 10月4日 「イエスって、誰?」
- 11月1日 「人生と宗教の不思議な関係!」

申込・問合せ

鹿兒島純心女子短期大学 生涯学習センター ☎ 099-253-2677

カトリック新聞

「宗教と人間」の随想

カトリック新聞は、日本のカトリック教徒の精神生活を豊かにし、社会の発展に貢献することを目的として創刊された。毎週土曜日発行。定価100円(税別)。

〒900-0001 鹿児島市本町1-1-1 カトリック鹿児島教区本部 電話 099-253-2677